

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業			事業番号	010-044
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境事業管理課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連 寄与するKPI	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成	
			有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保			
			有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連 寄与するKPI	有・無	ゴール	ゴール(2)つくる責任つかう責任	ターゲット	12.2,12.5	
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進			
			有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量			
		有	現状値	643g(2019年度)	目標値	628g(2025年度)		
		有	現状値	643g(2019年度)	目標値	638g(2023年)		
2	関連計画	堺環境戦略、堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度	平成 29 年度		点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	水銀による環境の汚染の防止に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民	対象数	817,441	単位	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	家庭から排出される水銀使用廃製品を適正に回収・処理（リサイクル）することにより、水銀による環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。また、水銀使用廃製品のリサイクルを推進する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	家庭から排出される蛍光管、乾電池、水銀体温計等の水銀使用廃製品について、国のガイドラインに基づき、分別回収（拠点回収）・適正処理（水銀回収・リサイクル）を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	収集運搬業者、処理（リサイクル）業者					
10	公民連携・協働事業	市内協力スーパー等での回収					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度
11 水銀使用廃製品等回収量	kg	目標値	108,000	119,000	121,000	111,000
		実績値	124,342	117,839		
		達成率	115%	99%		
当該指標を選定した理由		水銀使用廃製品の回収は、水銀等の環境への排出を抑制し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		令和3年度：前年度実績値を基準、令和4年度～令和5年度：堺市一般廃棄物処理実施計画、令和7年度：堺市一般廃棄物処理基本計画				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 回収拠点（回収ボックス設置拠点・回収協力店）設置数	箇所	目標値	83	83	82	
		実績値	88	84		
		達成率	106%	101%		
当該指標を選定した理由		市民の利便性を考慮しつつ、水銀使用廃製品の適正排出を促進するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		人口1万人あたりにつき1拠点設置				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業	事業番号	010-044
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	36,791	37,134	36,958	25,333	26,820
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	36,791	37,134	36,958	25,333
14 人件費 (b)	4,920	4,635	15,435	15,435	15,385
15 年間経費(c)=(a)+(b)	41,711	41,769	52,393	40,768	42,205

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R4	決算
16 事業費内訳	手数料	R4	決算	25,204	25,204	R4	決算		
		R5	予算	26,575	26,575	R5	予算		
	普通旅費	R4	決算	70	70	R4	決算		
		R5	予算	138	138	R5	予算		
	消耗品費	R4	決算	20	20	R4	決算		
		R5	予算	54	54	R5	予算		
自動車借上料	R4	決算	28	28	R4	決算			
	R5	予算	34	34	R5	予算			
通信運搬費	R4	決算	11	11	R4	決算			
	R5	予算	19	19	R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 水銀使用廃製品等回収量	kg	124,342	117,839
② 上記①にかかる年間経費	千円	39,068	38,259
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	314	325
備考 (算出についての説明等)		対象品目の収集・処理・処分経費に係る経費に限定して計上している。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>乾電池の回収量が当事業開始（平成29年度）以後初めて減少したことにより、水銀使用廃製品全体の回収量が減少したため、単位当たりの経費が増加した。</p> <p>今後、2021年以降の製造・輸入が禁止された水銀血圧計と水銀体温計、LEDへの切り替えが進んでいる水銀が使用された蛍光管については、引き続き排出量が減少する見込みである。</p> <p>乾電池については、2023年4月から水銀ゼロ使用のものを不燃小物類での回収としたものの、制度周知に時間を要することから従来の傾向どおり排出量の増加を見込んでいるが、今後の推移を注視し、制度周知ならびに効率化に向けた見直しを適宜行っていく。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>水銀使用廃製品を適切に処理することは、水銀による環境の汚染の防止に関する法律及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律により義務付けられている。水銀使用廃製品の分別回収により、環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与することができた。</p> <p>また、回収された水銀使用廃製品を適正処理することで、リサイクルの推進に寄与することが可能となる。</p> <p>水銀使用廃製品の適正排出など、ごみの分別回収は市民のごみ減量化の意識向上につながると考えられるため、KPIの達成に寄与している。</p>
----	---